

【事業所向け】 放課後等デイサービス自己評価表（エール） 2025年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4	0	0	<p>花の家側も含めて利用できるため、活動スペースが広く取れている。</p> <p>肢体不自由で車椅子使用の児童と体動が多い児童が同室で過ごすのは危ないと思いますが主な活動時間は別場所で過ごしているのでそれぞれのリスクが避ける工夫がされていると思います。</p> <p>工夫している点では、児童が靴下を脱いで座って遊んだり、肢体不自由の児童が横になって休めるスペースがある。また、児童の行動特性に応じたテーブルの配置も考えられている。</p> <p>改善目標は、車椅子の児童が多い時など、ゆとりある支援ができるスペース作りが必要。</p> <p>肢体不自由児の利用もあり、車いすや横になるスペースを考えると、十分な広さがあるとは言えないが、活動を分けたり、生活介護のスペースを時間によって使い分けるなどの工夫ができる。</p> <p>室内と外とを分けて活動している</p> <p>室内と外などの活動に分けている</p> <p>スヌーズレンroomなどを活用している</p>
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	1	0	<p>利用児童の人数や状態像によって足りなさを感じる事がある。</p> <p>児童の特性などで人数を増やした方がと思う曜日があります。職員の欠員によっては限られた時間で手厚い保育ができず必要最低限の支援しか行えない場合があると思いました。</p> <p>工夫している点は、児童の送迎でエールだけでは対応できない場合や、急な職員の休みに対してコンサールとの協力体制が出来ている。</p> <p>改善目標では、身体介助が必要な児童が多い時や個別対応が必要な児童がいる時などの職員体制が難しい。</p> <p>基準以上の配置をしている。</p> <p>室内と外の活動に分け、人数を調整している</p>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	0	0	0	<p>バリアフリーの環境が整っている事業所です。</p> <p>出入り口や廊下が広く車椅子での移動もスムーズです。</p> <p>段差（スロープ）、手すり、いろいろなタイプの多目的トイレの設置など、特性に合わせて使用できるようになっている。</p>
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	3	0	0	<p>PDCAサイクルについて詳しく分かりません。</p> <p>月に一回、職員会議があり個々の児童に対応する支援のあり方や改善点など話し合う機会がある。</p> <p>法人全体のことにに対しては経営者を中心に検討、実施をしている。決定や経過について説明し、必要なことは事業所単位で意見の吸い上げを行っている。</p>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	0	0	<p>正規職員が個別面談など実施している。</p>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0	0	

	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	1	0	第三者評価は近年行われていないと思います 第三者評価は実施していない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	0	外部から講師の先生を招いて児童支援に必要な知識や技術を学べる機会がある。 改善目標では、肢体不自由な児童支援に必要なスキルの向上を目指す。 感染症予防、虐待防止、災害対策等、必須の研修の他、児童の障がい理解についてなどの研修も定期的に実施している。 年に何度か外部講師を招いて研修をしています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	0	面談の実施やアンケートによりニーズや課題を抽出しサービス計画を検討している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	1	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	0	毎日、支援前のミーティングでその日のスタッフに活動内容が報告されている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	4	0	0	季節行事や児童の興味に合った活動を行なっている。 基本的には同じ流れで活動を組み立てている。季節や状況に合わせてできることを考え、新たな取り組みをすることも大切にしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	0	平日は生活のリズムに合った支援。 長期休暇はいろんな体験や活動量を考えながら支援を行なっている。 利用時間が長いからこそ楽しめる活動についても考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	0	児童一人ひとりに合った活動内容を調整している。 室内の活動が難しい児童は外に行くなどの対応、スヌーズレンルームなどを使うなどの対応をしている。他にも選択肢が増えると良い。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	0	概ね打ち合わせの時間はありますが長期休みの時などはないため、長期休みの時ほどあった方がよいのではと思うことがあります。 職員が知っておいた方がよい情報はメモやノートなどで周知してもらおう工夫もあると思います。 支援前にその日のスタッフでミーティングを行い、その日の支援内容を確認している。 正規職員のための打ち合わせ、その日の勤務者全員での打ち合わせ（申し送り）を毎日行っている。 改善点などがある時は共有している。 長期休みなどは開始前に打ち合わせをするのが難しいので、何か方法があると良い。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われてた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	1	0	支援終了後には行えていないが、翌日に振り返りを行なっている。 支援終了後は送迎に出してしまう職員がいる為、振り返りの話し合いが難しい。 打ち合わせとして設定はしていないが、保育終了後に正職間での振り返りは行っている。 終了後は難しいので、開始前にしている。
	17	日々の支援に関して正しい記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	0	記録システムを活用
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	0	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4	3	0	0	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3	0	0	定期的な聞き取りも含めて、児童の状況をよく把握している職員が対応している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	4	3	0	0	医療的ケア児の本格的な受け入れを再開したばかりで現在は保護者が間に入る形となっています。 けれど主治医より医療的ケア指示書をいただいているため事業者での児童の様子などをフィードバックして主治医に報告する体制を作る予定はあります。 まずはそこから主治医との連絡体制を作っていきたいと考えています。 職員が医療的ケアに関する情報を共有して安全に支援を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか					対象がいらない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	1	0	求められることがないため実施していないが、求めがあった場合は応じられる体制は整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1	0	大学の児童発達の先生に講師依頼をし定期的に研修を実施している

連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	6	0	日々の生活の中で時間的に難しい。積極的に取り組んではない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	1	0	法人として参画している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	0	個別面談や連絡帳などで情報を共有している。連絡帳や送迎時の申し送り、メールや電話、面談を通して行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1	0	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2	0	0	契約時に説明をしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	0	個別面談や電話での対応で丁寧に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	0	運営協議会、保護者会、保護者懇親会を開催。その他、法人内事業所見学会などを通して保護者間の交流を支援している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	0	マニュアルを周知し迅速に対応している。第三者苦情解決委員会に参加し、外部からの助言を受けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0	0	広報誌の発行、ホームページの更新等
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	0	個人の特性を理解し、分かりやすさを大切にしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	0	0	児童支援部としては地域参加の行事を設定していない
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	0	定期的に訓練をしている。マニュアルの策定は行っている。職員用のものに関しては周知しているが、保護者には伝えていないものもある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	0	専門の方を招いて訓練を行なっている。年間計画に沿って、避難訓練や災害対応訓練を実施している。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	0	会議の時に虐待防止マニュアルの研修も行なっている。 チェックリストの活用や研修の実施など、虐待防止の取り組みを行っている。月1回、委員会も実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	0	まずは、児童の安全を確保する為 保護者に十分に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	1	0	保護者からの書類はあるが、医師からの指示書はない。 おやつの時など事前にしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	1	0	会議などでヒヤリハット事例を振り返っている。